

2023年10月1日

私費外国人留学生家計収支状況

学 域 _____ 学 類 _____ 年
 研究科 _____ 専 攻 _____
 国 籍 _____ 入学年度 _____ 年度 来日(予定)年月 _____ 年 _____ 月
 学籍番号 _____ 氏 名 _____

1.1ヶ月の収支状況（日本で同居している家族全員分）について、記入してください。

収入金額（月 額）		支出金額（月 額）	
本人		住居費（アパート・学生寮・その他）・共益費	円
奨学金(学習奨励費含む)		電気・水道・ガス料金	円
奨学金名()	円	電話・インターネット料金	円
()	円	食費	円
日本学術振興会特別研究奨励金	円	生活用品（服・靴・洗剤・紙類・電気製品ほか）	円
給与・アルバイト	円	就学費（教科書・参考書・授業料）	円
本国からの送金（援助）	円	通学費（バス代、ガソリン代など）	円
本人の預金の切り崩し、貸付制度	円	保険料（国民健康・住宅保障・障害保険ほか）	円
配偶者ほか		教養・娯楽・交際費・会費等	円
奨学金(奨学金名:)	円	その他（理美容・医療・貯金・仕送りほか）	円
給与・アルバイト	円		
本国からの送金(援助)	円		
本人の預金の切り崩し	円		
合 計	円	合 計	円

- ※ 支出欄の、本国からの送金と本人(配偶者)の貯金の切り崩しは、しっかりと分けて正確な金額で記入してください。
- ※ 収入と支出の金額が一致するように記入してください。なお、支出が収支を大きく超える場合は、確認を求める場合があります。
- ※ **住居費(家賃・共益費、契約期間など)が記載された賃貸借契約書のコピーを提出**してください。(渡日前の者は、見込みで記入。)
- ※ 直近6カ月分の家賃・電気・水道・ガス・電話料などの領収書等から月額平均を算出し、記入してください。なお、領収書の提出は不要です。(最近渡日した者で領収書がない場合は見込みで記入。)
- ※ 預金の切り崩しは、本人の預金のことであり、父母等本国かからの仕送りを貯金したものについては「本国からの送金(援助)」に記入してください。

2. 奨学金の状況

「給付奨学金受給状況申告書(様式8)」を記入の上、申告書に記入した**奨学金名、受給額、受給期間がわかる書類(奨学金決定通知書など)のコピーをあわせて提出**してください。

○指導教員所見

上記学生の経済状況について、支援を必要と認め、学生の学習活動その他生活の全般を通じての態度・行動について、免除対象者としてふさわしいと判断します。

指導教員(署名) _____

【記入の注意点 (様式 10-2)】

(様式 10-2)

2022年1月2日以降に渡日した学生またはまだ渡日していない学生用

2023年10月1日

状況

学 域
研究科

日本に最初に渡日した年月を記入してください。
まだ渡日していない学生は、渡日予定年月を記入してください。

国 籍 _____ 入学年度 _____ 年度 _____ 来日(予定)年月 _____ 年 _____ 月

収支は渡日してからの状況で記入してください。
まだ渡日していない学生は、渡日後の見込額で記入してください。

氏 名 _____

1. 1ヶ月の収支状況 (日本) _____ さい。

収入金額 (月 額)		支出金額 (月 額)	
本 人			
奨学金(学習奨励費含む)			
奨学金名 (①〇〇奨学金)	4,166	<p>2023年4月1日～2024年3月31日の1年間で受給する(予定を含む)奨学金を全て月額で記入し(年額の場合は月額換算)、奨学金決定通知書(受給期間、金額記載のもの)のコピーを提出してください。 例) ①〇〇〇奨学金が1年間で1回のみ50,000円支給の場合 50,000÷12=4,166円 と記入 ②△△△奨学金が毎月(12か月)40,000円支給の場合 40,000円 と記入</p>	
(②△△奨学金)	40,000		
日本学術振興会特別研究奨励金		日用品 (服・靴・洗剤・紙類・電気製品ほか)	円
給与・アルバイト			円
本国からの送金(援助)			円
本人の預金の切り崩し、貸付制度			円
配偶者ほか			円
奨学金(奨学金名: _____)			円
給与・アルバイト			円
本国からの送金(援助)			円
本人の預金の切り崩し			円
合 計	円	合 計	円

来日後に働いた全ての収入から1か月の平均を計算してください。
また、「給与支給(見込証明書)(本学様式3)」や給与明細等収入の根拠となる資料を提出してください。
これから働く予定がある者は、「給与支給(見込証明書)(本学様式3)」を勤務先に見込額として3か月分証明してもらってください。
なお、発行までに時間がかかる可能性があるため、余裕をもって勤務先に依頼してください。

本国からの送金(仕送り)を預金し、切り崩す場合は、「本国からの送金(援助)」欄に記載してください。
奨学金を除く国や大学からの支援金(一時的で特別な給付金や借金)はこの欄に金額を記入してください。
例) ①支援金を9月に1回のみ60,000円借りる(予定含む)場合
60,000÷12=5,000円 として算入

- ※ 支出欄の、本国からの送金と本人の預金の切り崩しは、本人の預金のことであり、父母等本国かからの仕送りを貯金したものについては「本国からの送金(援助)」に記入してください。
- ※ 収入と支出の金額が一致する。
- ※ 住居費(家賃・共益費、契約期間)
- ※ 直近6か月分の家賃・電気・水道・ガス・電話料などの領収書等から月額平均を算出し、記入してください。なお、領収書の提出は不要です。(最近渡日した者で領収書がない場合は見込みで記入。)

収支は必ず「収入≥支出」で記入してください。
支出が収入を上回る場合は、再提出を求める場合があります。

があります。
(見込みで記入。)

2. 奨学金の状況

「給付奨学金受給状況申告書(様式8)」を記入の上、申告書に記入した奨学金名、受給額、受給期間がわかる書類(奨学金決定通知書など)のコピーをあわせて提出してください。

○指導教員所見

本用紙を全て記入後、指導教員に内容を確認いただき、サインをお願いしてください。

上記学生の経済状況について、支援を必要と認め、学生の学習活動その他生活の全般を通じての態度・行動について、免除対象者としてふさわしいと判断します。

指導教員(署名) _____